

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

JR東労組

本部OB会 ニュース

No. 197 2014年3月 発行

えっ、大宮支社が美世志会をダニ扱い？ 社宅の明け渡しを要求し、職場から私物を持ち出す

JR東日本大宮支社は、「JR浦和電車区事件」の美世志会の6名に対して、JR社員の身分を認める「地位確認訴訟」の裁判が継続しているのに、「社宅の明け渡しや、法外な社宅使用料金の請求」を求める通告を行って来ました。

そればかりか2月4日から6日にかけて、美世志会の仲間を「ダニ扱い」したかのよつに、浦和電車区にあった6名が使用していたロッカーや下駄箱などにあつた私物を強制的に「整理」しました。いま美世志会やその家族を含め職場の組合員たちは、この大宮支社の人非人的な蛮行に対して、怒りを露わにしています。

突然の通告の内容とは

大宮支社が1月16日付けの配達証明郵便で、美世志会の6名の自宅に送り付けてきた書面の内容は、次の通りです。

- ① 3月31日までに社宅を明け渡すこと。その場合使用料相当損害金として、社員の使用料金の約4倍の金額と、年5分の利息を含めた金額の請求。
- ② 地位保全仮処分命令申立ての時の10ヶ月分の仮払賃金と年5分の利息を含めた金額の返還請求（組合専従だった梁次さんを除く5名）。
- ③ 浦和電車区にあるロッカー、下駄箱、乗務員用カバン、机（指導員用）などにある私物の整理。

中央本部と美世志会は、本人とその家族の生活権をも一方的に奪おうとするこの通告に対して、直ちに「上告手続き中のため、会社の請求には応じられない」旨の回答書を大宮支社に送付しました。

ダニを駆除するのだ！

すると大宮支社は、突然2月3日に浦和電車区に置いてあつた復職を求めている美世志会6名の私物の量を確認し、翌日の4日、検修の作業をまとつた区長を先頭に、カッターとヘルメット、防塵マスクで完全装備した副区長と企画助役、それに支社勤務課の2名の総勢5名で「乗務員用ロッカー室」に現れたのです。

その異様な装いに驚いた着替え中の乗務員が、「今日は何かあるのですか」と尋ねたところ、美世志会の人々のロッカーを指差して「ダニやホコリがひどいので片付けに来た」と返答したのです。

影や匂いまで一掃するのが狙い

この異様な姿の管理者を見た組合員からは、「冗談だろう、そんなダニがいる職場で、俺たちを働かせているのか」、「美世志会の6名を徹頭徹尾痛めつけるために、こんな事をやっているのだ」などの声が上がりました。

この評判は、大宮支社のドス黒い腹の内を言い当てています。「JR浦和電車区事件」の発生以降、浦和電車区分会の組織は今まで以上に強くなりました。そればかりかJR東労組も強くなりました。だから会社は、美世志会の仲間を「懲戒解雇」にして職場から追放したばかりか、仕事で使用していた全てのものを処分し、それこそ美世志会の影も

会社は初心にかえり、謙虚になれ

最近のJR東日本会社の「労務政策」とりわけ「労働組合対策」の異常さは、大宮支社の美世志会に対する対応ぶりにとどまらず、他の支社の職場でも目につきます。特にこの「冤罪・JR浦和電車区事件」以降、会社はJR東労組の職場の組合運動を消滅させようと必死になっていきます。つい最近でも、東京や八王子地本の運転職場のベテラン乗務員らを、「優秀な社員だから」と言つて他線区の職場に否応なしに強制配転させました。

このような出来事が多発し、国民の生命と財産を直接輸送している乗務員が働いている運転職場に、「不信感」や「不安感」が充満すると大変な事になります。この事を心配するのは、国鉄改革を担つたOB会員だけでなく、新生JRの誕生に苦心された当時の会社幹部も同じ思いでしょう。

JR東日本会社は、新生JRを誕生させた当時の「精神」にもう一度立ち返るべきです。人間性を失い、対立と憎しみの中からは何も生まれません。この国鉄改革時の教訓を会社は絶対に忘れてはなりません。

2014年春 JR東労組OB



幹事会で報告する上原代表

そして三日かけて、一日に2名分のロッカーと下駄箱から制服や靴等を取り出し、ダンボールに無造作に投げ入れ、片

お詫び

先月の「本部OB会ニュース・2月号」が、事務作業の遅れで配送が遅れました。迷惑をおかけしたことをお詫びします。



「2014年春・JR東労組OB会幹事会」の報告

本部定期総会に向けて熱心に討議

～ 総車セ・工務OBの組織強化を確認・後援会の取り組みに全力～

東京に一週連続で降った記録的な大雪が道路脇に残る2月17日、JR東労組本部大会議室で「2014年春・JR東労組OB会幹事会」が開催されました。この大雪で被害の大きかった高崎地本OB会選出の幹事が、会議開催時間に間に合わず遅れての参加となり、OB会の活動にも影響を与えました。

会議では当面する取り組みを巡って活発な討議が行われ、例年になく熱い幹事会となりました。幹事会は島崎副会長の司会で始まり、所用のために会議を欠席した古川会長に代



2014年春 JR東労組OB会幹事会

わつて佐々木副会長が主催者挨拶をしました。来賓には石井本部副委員長と美世志会の上原代表が見えられ、石井副委員長からは「名護市長選の報告や田城再選に向けた本部の取り組み、春闘情勢」等が述べられ、また上原代表からは「による人間味のない社宅追い出しや、職場の個人貸与のロッカー等の一方的整理などの話が紹介され、会社のやり方を強く批判しました(詳細は一面に掲載)。」

その後幹事会では、本部OB会から提起された「昨秋以降の取り組みの経過」と「本部OB会第18回定期総会などの当面する取り組みについて」活発な討議が行われました。

議論された内容は

- 工務職場OBの交流会の成功に踏まえて、今後未加入者の組織化に全力を挙げる

重みを増した会議

今回の会議は、これまでの会議以上に重みの増した会議となりました。それは各地本OB会の運動づくりと組織づくりが、ここ数年前進してきていることから、発言の一つ一つが責任を持った発言となっているからです。

この幹事会の中で討論された内容は、4月に開催される「本部OB会第18回定期総会」の方針に反映されます。

わが町の有名人

新潟地本OB会

新潟の通称「トシちゃん」こと田村敏雄さんを紹介します。

昨年「笑年隊」でデビュー

田村さんは現役時代、職場の新車両製作所で電車の車両製作に携わる一方、組合の役員を務め、その傍らカメラを所持せたらプロ並みの腕前を発揮し、組合行事の大半をスナップ写真に収め、みんなから大変親しまれていました。

最近「ボリス田村」の芸名で「お笑い集団NAMARA」でマジックを演じています。一昨年4月には、東日本大震災で新潟の避難所に避難されている被災者の前で、慰問公演も行ってきました。



また昨年5月にはお年寄り3人で「笑年隊」を結成し、それ以降新聞・テレビに出演するなど忙しい日々を送っています。

（新潟市在住・田村敏雄・65歳）

国会議事堂見学!

～「たしろかおる」後援会加入の取り組み～

2014年の「たしろかおる」後援会加入の取り組みの一環として、国会内外で活躍する「我らの代表 田城議員に密着しよう」と、横浜地本OB会は2月5日に「国会議事堂」の見学を取り組みました。

地本、支部のOB会幹事と、家族・友人の27名が参加し、見学は国会議事堂の正面から始め、田城議員の所属する参議院議場を傍聴席から臨みました。

天皇が開会式に列席する議場は古式豊かで、歴史の深さを感じました。また、日本の運命を幾多となく変えてきた歴史の場であったと考えると、感慨深かった。だが、ここで「秘密保護法案」が自民党等によって強行採決をされた場かと思うと、怒りを感じました。

議員会館で田城議員とともに昼食の「カレーライス」をとり、その後事務所で記念の写真撮影を行いました。会議室に移動してからは約1時間議員との「意見交換」を行い、「アベノミクスの今後」、「原発」「3・11被災地」「JR北海道の現状」、「地域の環境問題」等の出された意見に対して、直接丁寧な答えをいただきました。

田城議員は、2年後の2016年7月の参議院選挙に立候補する予定です。厳しい選挙戦が予想されます。

自民党「一党独裁政権」の中だからこそ「たしろかおる」は絶対必要です。横浜地本OB会は、それに応えていきたいと思ひます。今後も広くOB会員にこうした機会を作っていきます。



退職者連合が

「社会保障制度要求の実現」に向け、2・20院内集会開催!

去る2月20日日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)主催による社会保障制度要求実現に向けた「介護保険制度の充実を求める2・20院内集会」が開催されました。集会には各県の代表と、構成単産の代表約300名が、参議院議員会館の講堂に集まりました。JR総連OB連絡会の仲間10名も参加しました(東労組OB会からは5名)。

主催者の阿部保吉会長は、今日の安倍政権が進めている強権的な政権運営を痛烈に批判しつつ、退職者連合が集めた特定秘密保護法の廃止を求める2617の団体署名を政府に提出したことを報告した後、社会保障制度改革プログラムの問題点を指摘し、その改悪に反対することを明らかにしました。

その後、連合、民主党、社民党からそれぞれ挨拶を受け、また連合生活福祉局から「介護保険制度改革の動き」についての説明があり、最後に羽山事務局長から今後の取り組みが提起され、集会決議、会長の「団結カンパニー」で集会を終えました。

今後安倍政権が進める強権的な政権運営の一方で、年金生活者や弱者がどんどん切り捨てられていきます。この4月からは、消費税も8%になり、「そのためには、介護保険制度などを改革しなければ」とうそぶく厚労省の官僚もいます。「こんな時、労働運動は何をやっているのか!毎日でも国会を取り巻け」と檄を飛ばした民主党の来賓もいました。JR東労組OB会も無関心ではられません。田城再選を目指す活動と併せ、連帯の闘いを進めましょう。